心臓血管外科

【特　色】

虚血性・弁膜症・先天性の心疾患、大動脈及び末梢動脈疾患、不整脈と心不全など厚生労働省が定める「施設基準」を満す手術件数を２４時間体制で施行し、循環器内科との連携により診断・手術・術後管理まで統合的な臨床経験を得る環境が提供される。

【研修責任者および指導医】

研修責任者：心臓血管外科　部　長　竹田　誠（心臓血管外科専門医・修練指導者）
指　導　医：臨床工学部　部　長　安藤　敬（平成９年卒）（心臓血管外科専門医）
心臓血管外科　医　師　岡田　拓（平成 17 年卒）（心臓血管外科専門医）
心臓血管外科　医　師　井元和代（平成 26 年卒）

【指導体制】

心臓外科医師全員が指導にあたる。

【一般目標】GIO

全ての手術症例を受け持ち、心臓血管外科に関する診断・検査・手術技術を習得することを目標とする。具体的には、以下に記す目標・方略に則り、成績の評価方法(EV)は心臓血管外科研修評価表により行う。

【個別目標】SBO s	【研修方略】LS
手術前患者の病態を把握	手術適応の観点から、合併症・臨床症状・検査所見などを総合的に診断する能力を習得する。 手術前の入院時に病棟において指導医と電子カルテを照合しながら術前ケースカンファレンスを行う。
術前患者の管理	病態ごとに異なる術前準備をもれなく実施するよう習得する。入院前では外来において指導医と共に術前の指示を電子カルテに入力し、患者にその必要性を説明する。入院後は病棟において，術前指示が遂行されることを指導医および看護師と共に確認する。患者のベッドサイドにおいて、患者と共にその進捗状況を把握し、説明する。
手術室での準備	手術を開始する前の処置・準備・消毒法などを習得する。患者が手術室で入室する前に、病棟において前処置が完了しているかを確認する。 手術室へ入室後は、指導医・麻酔科医・看護師・臨床工学師と共に開創前までの処置の指導を受ける。

手術術式の習得	心臓血管手術の術式を習得し・反復する。 術前においては病棟およびカンファレンス室において、指導医より術式の講義を受け自らも教科書やマニュアルを参照して自習する。手術時においては自らも手洗いして手術台に望み、指導医から許可された術式の操作を実地経験する。手術器具および材料に自ら触れてその使用法を体得する。手術後はその術式の経験をレポートにまとめ、病棟において指導医およびスタッフからのレビューを受け、自らも質問し、反復して記憶する。
手術室での術後処置	集中治療室へ移動するまでの処置を習得する。 術直後の手術台において搬送用の準備作業について指導医より学び、可能な操作を行う。
集中治療室での術後管理	集中治療のための指示・処置・検査・モニター法などを理解し、習得する。集中治療室において、指導医・麻酔医・ICU 看護師より指導を受けながらモニター類の操作と ICU 記録に関して実地体験し、必要な検査の指示を行う。
退院までの検査と治療	術後の検査及び投薬管理などを理解し、習得する。 病棟において指導医のもとに、退院までのスケジュールをつくり、計画的な指示を行う。電子カルテに日々の総括記録を行い、翌日にはスタッフからの点検を受ける。患者にはベッドサイドにおいて、各検査と治療の必要性をそのつど解説する。退院直前までに、病棟において電子カルテ状に入院記録の総括を記載して指導医の点検を受ける。

【臨床教育に関する行事】

曜日	時間	名称	担　当 指導医	場所
月	8 時 05 分-9 時 30 分 9 時 30 分-17 時 00 分	回　診 手術指導	竹田 安藤 岡田	集中治療病棟・一般病棟 手術室
火	8 時 05 分-10 時 30 分	回　診 症例カンファレンス	竹田 安藤 岡田	集中治療病棟・一般病棟 4 南カンファレンス室

水	8 時 05 分-9 時 30 分 9 時 30 分-17 時 00 分	回　診 手術指導	竹田 安藤 岡田	集中治療病棟・一般病棟 手術室
木	8 時 05 分-09 時 30 分 9 時 30 分-10 時 30 分	回診 多職種カンファレンス	竹田 安藤 岡田	集中治療病棟・一般病棟 9 階カンファレンス室
金	8 時 05 分-9 時 30 分 9 時 30 分-17 時 00 分	回　診 手術指導	竹田 安藤 岡田	集中治療病棟・一般病棟 手術室

【評価】

研修終了時に、当院研修評価表に基づいて、評価する。